

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 **バス運転手確保支援事業費補助金**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 公共交通課 地域交通係 電話番号：058-272-1111 (内 2735)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,800 千円 (前年度予算額：3,750 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,750	0	0	0	0	0	0	0	3,750
要求額	4,800	0	0	0	0	0	0	0	4,800
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・運転手不足は深刻になってきており、自動車運転における有効求人倍率は2.16と、全職業平均(1.18)を大きく上回っている。
- ・運転手不足により路線バスの便数の削減や路線の廃止が起こっている。また、貸切バスや高速バスなどこれまで乗合事業の赤字を内部補填してきた事業から乗務員を回すことにより事業者の経営を圧迫している。
- ・県内の路線バス運行事業者では、すべての事業者において大型二種免許取得費用に対して助成を行っているが、負担が大きいため、県に対して「大型二種免許取得費用の補助」への支援策が望まれている。

(2) 事業内容

平成30年度末現在の運転手数を確保するため、乗合バス事業者が新規採用者の大型二種免許取得に要する教習費用を負担する場合に要する経費を補助する。ただし、対象者数は定年以外の事由により退職した者の数を上限とする。また、乗合バス事業に従事した後、5年以内に離職等した場合は、補助金を返還させる。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：1 / 2

補助上限額 250,000 円／人（取得費用：約 500,000 円）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,800	乗合バス事業者が負担する大型二種免許取得費用に要する費用に対する補助
合計	4,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

③地域公共交通体系など生活サービスの再編・効率化

(地域公共交通の維持と再編)

- ・ 地域鉄道の維持確保のため、安全運行に必要な設備投資等を支援するとともに、バス交通の維持確保のため、広域幹線バス路線や市町村自主運行バスの運行を支援する。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	バス運転手確保支援事業費補助金
補助事業者（団体）	広域バス路線支援事業費補助金の補助対象系統を運行する事業者（県内に営業所を有すること） （理由）補助対象系統の運行事業者であるため
補助事業の概要	（目的）路線バスの運転手を確保する （内容）乗合バス事業者が乗合バス事業の運転手の業務に従事する従業員を確保するため、大型二種免許取得を新たに取得させる際に負担する経費を補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）1 / 2（以内）
補助効果	運転手不足を要因とする路線廃止、減便等を防ぐ。
終期の設定	終期令和4年度 （理由）事業開始から3年以上経過

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>必要な運転手数を確保し、運転手不足を要因とする路線廃止や減便をなくす。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
乗合事業に従事する運転手数	883人	883人	883人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 3,750千円	(要求額) 4,800千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 運転手不足を要因とする路線バスの廃止や減便が行われており、地域公共交通の維持が危ぶまれている。
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い △ : 必要性が低い	
(評価)	運転手不足を要因とする路線バスの廃止や減便が行われており、 ○ 地域公共交通の維持には運転手確保対策への支援が必要である。
<ul style="list-style-type: none">・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている △ : 向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
